

光が丘第七小学校・田柄第三小学校 統合準備会(第7回) 要点記録

開催日時	平成21年2月18日(水)午後6時~午後7時40分	
会場	田柄第三小学校 会議室	
出席者	委員	重田三夫、高橋義幸、松延茂、遠見茂、福澤志保、高橋明子、福田幸子、小山佐江子、相原幸一、小川典余、石井ひとみ、吉田君代、畑河内シメ子、上野勝弘、清水きよゑ、富永愛子(敬称略)
	その他	学校教育部長
	事務局	新しい学校づくり担当課
傍聴者	2人	
案件	1 統合新校の校名の選定について 2 その他	

1 統合新校の校名の選定について

〔統合新校の校名募集の結果について、事務局から説明〕

【概要】

(1) 募集期間

平成21年1月8日(木)~1月30日(金)

(2) 応募件数等

光一小と光二小の統合新校

- ・ 応募件数(延べ) 369件〔内訳 児童 298件、保護者 45件、地域 26件〕
- ・ 校名件数(実件数) 177件

光三小と光四小の統合新校

- ・ 応募件数(延べ) 388件〔内訳 児童 293件、保護者 57件、地域 38件〕
- ・ 校名件数(実件数) 169件

光五小と光六小の統合新校

- ・ 応募件数(延べ) 339件〔内訳 児童 261件、保護者 52件、地域 26件〕
- ・ 校名件数(実件数) 163件

光七小と田柄三小の統合新校

- ・ 応募件数(延べ) 157件〔内訳 児童 99件、保護者 27件、地域 31件〕
- ・ 校名件数(実件数) 98件

(3) 校名案

〔4つの統合新校の校名募集結果を報告。詳細は、新しい学校づくり担当課ホームページ上の「統合新校の校名を募集しました」を参照〕

ホームページアドレス <http://www.ci.city.nerima.tokyo.jp/gakkou/atarasi/atarasi.html>

(4) 校名案の傾向

光一小と光二小の統合新校

「光が丘」もしくは「光」の言葉が含まれているものが最も多く6割。次に公園名の「四季の香」。次に方角の「西」。なお、「北」とする校名案もあった。

光三小と光四小の統合新校

「光が丘」もしくは「光」の言葉が含まれているものが最も多く5割。次に公園名の「春の風」または「春風」が3割弱。次に方角の「南」が1割強。

光五小と光六小の統合新校

「光が丘」もしくは「光」の言葉が含まれているものが最も多く5割。次に公園名の「夏の雲」が1割。なお、方角は非常に少なかった。

光七小と田柄三小の統合新校

「光が丘」もしくは「光」の言葉が含まれているものが最も多く3割。次に「田柄」の言葉が含まれているものが2割。次に公園名の「秋の陽」が2割弱。

〔校名選定にあたっての基本的な考え方(案)について、事務局から説明〕

【概要】

- ・ 応募件数の多寡は参考にすが、それで決定するものではない。
- ・ 統合対象校のどちらか一方の名称をそのまま使用しない。
- ・ 現在、練馬区立小学校で使用している名称は使わない。
- ・ 3回の検討の中で校名候補を徐々に絞り込み、最終的には校名候補を1つに決定する。

副会長

校名選定にあたっての基本的な考え方は、事務局案に賛成するというだけでよい。

- 異議なし -

委員

大人は、自分が関わっている学校を優先した校名案にする傾向にある。児童の考えを活かしたいので、応募者別に校名案を教えてもらいたい。

事務局

応募者別の集計はしていない。児童からの応募が最も多いので、児童の考えは自ずと活かされると思う。また、応募者によって、見方を変えてほしくない。ただ、児童の発想であると推

測できる校名案もある。

委員

4つの統合新校は、それぞれ近くの公園名を校名にするとよい。したがって、光七小と田柄三小の統合新校は「秋の陽」にしたい。

委員

自分も「秋の陽」がよい。

副会長

具体的な校名案ではなく、校名候補の選定方法について意見を述べてもらいたい。

委員

区内の校名一覧を見ると、同一地域の学校は、方角や数字を用いて関連性を持たせる傾向にある。また、学校の所在地を表す校名が多いようだ。今回の集計結果は、「光が丘」がつく校名、方角を用いた校名、公園名を用いた校名に分類できる。まずは、光七小と田柄三小の統合新校のことだけ考えた場合と、光が丘の学校として全体的な視点で考えた場合に大きく分けて協議するとよい。

委員

学校の所在地がわかる校名がよい。ただ、田柄三小と光七小の統合新校ということとを考慮すると、住所が光が丘であるというだけで、「光が丘」とつけてよいものか迷っている。

委員

他の統合新校の集計結果を見ると、学校に近いという理由から、公園名が多数応募されている。光七小と田柄三小の統合新校も、親しみやすく覚えやすいという理由から「秋の陽」がよい。

委員

「光が丘」を残したい。そこに「秋の陽」が加わるとより望ましい。児童が一番親しんでいる場所であることを考慮してもらいたい。

委員

「色」や「望み」をイメージできる校名がよい。地名が大切だということは理解できるが、希望等の意味を併せ持った校名も検討してもらいたい。

委員

校名を聞いて所在地がわかるほうがよいという意見は納得できる。しかし、新しい学校としてスタートすることを考慮すると、「光が丘」および「田柄」は使用しないほうがよい。また、校名は各統合準備会が独自に検討すればよく、統一性をとらなくてもよい。

委員

応募の多寡について、少しは考慮すべきだ。そのほうが児童も納得しやすい。

委員

区内の豊溪、泉新、光和小学校は、地名に由来しない校名のようなのだが、どのような意味があるのか。それが分かれば、統合新校の校名選定にかかる協議の幅が広がる。個人的な意見としては、統合新校は地名と関係のない新しい名称がよい。

委員

豊溪小学校の校名は、地形に由来したと記憶している。

副会長

学校要覧によると、泉新小学校は、地名の「大泉」と「田中新田」からきている。光和小学校は、将来に向かって栄誉ある学校、学校本来の意味を象徴するような名前という、創立に携わった地元関係者たちの願いを反映した名称とのことだ。

委員

集計結果を見ると、両校の校名が共に使われた校名案を考えてもらった印象がある。しかし、両校の校名の一部を使用した校名や地名に由来する校名ではなく、新しい校名でスタートするほうがよい。

副会長

これまでの委員の意見をまとめると、学校の所在地がわかる校名、「光が丘」や「田柄」にこだわらない新しい校名、「希望」や「望み」を表すような校名、公園名の「秋の陽」を使用した校名、の4つに大きく分けられるようだ。

委員

公園名の由来を教えてください。

事務局

光が丘地区の都市計画の中で、大きな公園を4つ整備することが決まり、関連性を持たせた「春、夏、秋、冬」が公園名として考えられた。しかし、「冬」はふさわしくないという理由から「四季」になった。名称は区職員が考えたものである。

会長

各委員の意見が分かれているので、統合準備会として統一された方向性を出すことは難しい。しかし、校名案を絞り込んでいかないと協議が進まない。例えば、各委員が何件かずつ投票して、件数を絞るのはどうか。

副会長

学校の所在地がわかる校名と、地域にこだわらない新しい校名という反対の意見が出されていることもあり、校名案の絞り方が難しい。

委員

他校に類似している校名案がある。例えば「光が丘桜小学校」だ。他の統合準備会では、類似の校名案についてどのように考えているのか。類似の校名案を候補にするのは心配だ。

事務局

これまでの協議の中で、まずは、各統合準備会の意見を尊重することが確認されている。光三小・光四小統合準備会でも、各統合準備会との調整が必要という意見は出された。しかし、まずは各統合準備会で検討して、調整は事務局が行うこととした。他の第7回統合準備会の結果は、次回、事務局から報告する。

委員

他の統合準備会で類似の校名案が候補に挙がった場合、事務局が情報提供してくれるという理解でよいか。

副会長

よい。

委員

校名は、地名に由来するより、何らかの意味を持たせたほうが児童の母校に対する想いが深まる。校名を決めるにあたり、何を大事に考えるかについて委員の意見を聞きたい。

副会長

校名そのものを協議する前に、統合新校が目指す姿や、児童に持ってもらいたい精神等について検討した上で、それに合ったものを考えたほうがよいという理解でよいか。

委員

よい。いずれ統合新校も廃校になるのではないかと不安がある。

会長

参考までに、光三小・光四小統合準備会で決まった校名案の絞り方を教えてもらいたい。

事務局

光三小・光四小統合準備会では、校名案を消去していく方法と、選出していく方法が検討された。結果的には、各委員が5件以内で選び、その集計結果に基づいて、次回の統合準備会でさらに絞り込んでいくことになった。

副会長

各委員が投票するにしても、選ぶ方向性を決めたほうがより絞りやすいと思う。統合新校が目指す姿や、児童に持ってほしい精神等があれば、意見を述べてほしい。

委員

統合新校の位置から、方角をつけた校名案があるが、人によって方角の認識が異なるようだ。区は、光七小と田柄三小の統合新校の方角をどのように認識しているのか。

事務局

地図上では、光七小と田柄三小の統合新校は、4つの統合新校の中で最も東に位置する。光一小と光二小の統合新校と比較すると、南北の違いはほとんどない。区として、どの統合新校がどの方角に当たるかという見解は持っていない。

委員

田柄三小には、学校の目標を表すキャッチフレーズがあり、その意味を児童に伝えている。光七小にもキャッチフレーズがあるはずだ。両校が大事にしている精神や特色を大事にして校名を選定したい。そのほうが児童にもわかりやすい。

会長

田柄三小には、「ワクワク学習、元気の出る学校」というキャッチフレーズがあり、目指す学校像を表している。しかし、これは校長の方針であって、校長が代われれば変わってしまう。

副会長

光七小と田柄三小が、開校してから何を大事にしてきたか、どんな学校であったか等について教えてほしい。

委員

地域の方々が、様々な場面で尽力してくれたことが田柄三小の宝だ。集計結果の中に、農業体験を多くしているから「光が丘みのり」という校名案があったが、土と触れ合うということは、児童にとって大切な体験だ。

副会長

秋の陽公園における米作りは、いつ頃から行われているのか。

委員

秋の陽公園ができた時から行われている。当初は田柄三小、光七小、光四中の3校のみであったが、現在では近隣の6、7校が行っている。

委員

田柄三小の開校当初は父母の会がなかったため、区の青少年委員が会長の代わりを担ってい

た。児童に対する余暇活動の指導についても、田柄地域から応援があり、それが現在でも続いている。また、光四中の生徒によるラジオ体操の指導も、継続して行われている。

委員

光七小の開校当初、自治会がきちんとできていなかった。そのため、児童に対する余暇活動の指導やラジオ体操の際には、田柄地域の方々にご協力いただいた。

副会長

次回の統合準備会でも、こんな学校、児童になってほしいという意見を聞いて協議の参考にしたい。ただ、校名案を絞らないと協議が進まない。本日の意見を参考にした上で、各委員が何件か投票し、校名候補を絞るという方法でよいか。

- 異議なし -

委員

投票する校名案は、募集結果の中から選ぶのか。

副会長

公募したからには、募集結果の中から選ぶのが基本だと思う。しかし、応募された案を組み合わせた校名を投票してもよいのではないか。

委員

募集結果から選ばなければ、応募してくれた方々に失礼だ。

事務局

校名案のアイデアを広く募るために公募したことを鑑みると、柔軟にとらえてもよいのではないか。応募された案を組み合わせることによって、よりよい校名になる可能性がある。

副会長

統合準備会委員が投票する校名案は、基本的には募集結果から選ぶ。ただし、募集結果に基づく案は可とし、基づかない案は不可とするということによいか。

- 異議なし -

委員

投票件数は、5件だと多いので3件くらいがよい。

委員

5件くらいは投票したい。

副会長

事務局に5件記入できる投票用紙を作成してもらおう。投票件数は5件以内ということでしょうか。

- 異議なし -

事務局

同じ校名案を複数投票することは不可ということでしょうか。

- 異議なし -

事務局

明日、投票用紙を各委員に発送するので、1週間を目安に事務局へ返送してもらいたい。投票結果は、次回統合準備会の資料として報告する。

委員

投票用紙にその校名案を選んだ理由を記入する必要があるか。

事務局

理由は本日の会議資料に書いてある。また、次回の統合準備会で協議するので記入しなくてよいのではないか。

委員

投票用紙に委員の名前を書く必要があるか。

事務局

集計の都合上、記名してもらいたい。ただし、次回の資料に委員名は出さない。

2 その他

副会長

統合新校の校名候補を選定するにあたって、3月中に統合準備会を2回開催したい。第8回を3月4日(水)午後7時から光七小で、第9回を3月27日(金)午後7時から田柄三小で開催したいがよいか。

- 異議なし -

副会長

以上で、第7回統合準備会を終了する。